

Rotary



Yachiyo



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度

国際ロータリーテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

Rotary Opens Opportunities

2020-21 年度クラブテーマ

「地域の奉仕ニーズを捉えられる

クラブ作りに取り組もう」

週 報 第 2 5 8 0 回

2 0 2 0 年 9 月 1 8 日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

担 当：プログラム委員会

テーマ：私とロータリー

卓話者：君塚 欣哉 会員

次回例会 9月25日

担 当：クラブ戦略特別委員会

テーマ：クラブ協議会

委員会構成について

◆◆◆第2579回例会◆◆◆

司会 菊川 秀明

お客様

八千代市 消防本部

消防長 消防正監

課長補佐 消防指令

関口 一博 様

若月 雅仁 様

会長挨拶

会長 市原 正男

皆さん、こんにちは。

米山記念奨学会から第28回功労クラブとして感謝状が届きましたのでご報告致します。

何気なくみていたニュースで知りましたが、アフリカでポリオ根絶宣言がなされたそうです。我々にとっては RI の大命題のひとつであるポリオの撲滅です。アフリカで最後まで残っていたナイジェリアで根絶となりました。RIではこの運動に1980年代から協力しているそうです。元々はアフリカのネルソンマンデラ大統領がポリオ撲滅を訴え、それに賛同した団体が連合体を作って莫大な資金を投入し協力しました。そのうちの重要な団体のひとつが国際ロータリーではないでしょうか。アフリカが根絶となり、残るはアジアのアフガニスタンとパキスタンの2国となりました。

先日、第2回会長幹事会が開催されました。来年度はグループ改編がありますが、ガバナー補佐の選出の時期が迫っており、12グループは千

葉の3つのクラブと合併し第4グループとなります。各クラブから補佐の選出方法について意見が出ました。これから7月に向けて動きがでるのではないかと話がありましたが、相当なご苦労があるのではないかと思います。

10/2は八千代中央 RC と合同のガバナー公式訪問で、例会とクラブ協議会が開催されます。

発表者等の詳細事項に関しては八千代中央 RC と打ち合わせ後に決定となりますので、発表をお願いするのは1～2週間前となりますが、ご協力の程よろしくお願い致します。

また、来週はガバナー補佐訪問がございます。

幹事報告

幹事 江頭 泰利

【理事会の報告】

・10/23 月見の会開催

・コロナ感染症の影響による例会への出席免除願については、規定をみましても本人の意思確認が必要であるという事から、承認願の提出をお願いする事となりました。当該免除については、例会を欠席しても皆出席の適用がされます。

・11/28 情報研修会開催 11/27(金)の例会を振替え、例会後に情報研修会となります。

本日例会終了後クラブ戦略特別委員会開催。メンバー以外も是非ご参加下さい。

9/4に卓話を頂いた宇佐見 PG から、お礼のメールが届きました。

委員会報告

お祝い

本人誕生日：石渡誠太郎会員
結婚記念日：三井啓久会員
夫人誕生日：中島文枝様(中島仁会員)
君塚裕子様(君塚欣哉会員)

例会行事

出席委員会 副委員長 宮野 宗雄

本日は遠藤副会長のご紹介で八千代市消防本部消防長消防正監関口一博様、課長補佐消防指令の若月雅仁様のお二人に卓話を頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

テーマ:

ちば北西部消防指令センターについて
八千代市内の救急状況について

卓話者:八千代市消防本部

消防長 消防正監 関口一博様

八千代 RC の皆さまにおかれましては、消防行政に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、平成 29 年 5 月には事務連絡車をご寄贈頂き、改めて感謝申し上げます。この事務連絡車は警防課で管理し、日頃の調査業務などに活用させて頂いています事、ご報告申し上げます。

本日は富士化学工業株式会社の遠藤会長にお声がけ頂きました。今年の1月には、遠藤様からも救命講習用資機材として訓練用 AED と小児用、成人用の訓練用人形をご寄贈頂きました。現在、市民の皆さまへの救急救命講習は延期している状況ですが、コロナが落ち着きましたら、救命率の向上と、市民の安全安心に向けて活用して参りたいと思います。

【八千代市内の救急状況について】

本日は年々増加する八千代市の救急出動状況と、来年2月から運用を開始するちば北西部消防指令センターについてお話致します。

八千代市は昭和 42 年1月に市政が施行されましたが、この救急業務は昭和 40 年5月に救急業務に関する規則が施行され、救急車1台を配置し、職員は 17 名で業務が開始されました。

昭和 40 年の出動件数は 80 件、昨年は 9,777 件と 55 年間で約 120 倍に推移しています。特に八千代市は東京のベッドタウンとして人口増加。それに伴い、救急出動が増えたのではないかと考えます。毎年 500 件程度ずつ増加しておりますが、今年は新型コロナもあり、病院に行くと感染してしまうのではないかと心配してか、減少傾向にあります。救急の適正利用となっているのではないかと考えております。本来であれば1万件を超えるかというところ、横ばい、あるいは若干少なくなると予測しております。

月別、災害種別では、火災から急病などに分けており、1番多いのが急病で、6,357 件。次に一般負傷が 1,405 件、交通事故が 610 件となり、この3つが突出しております。その他が 1,134 件で、主に病院から病院への転院搬送となります。

1番多い急病をみますと、11 月は 538 件、12 月が 555 件、1 月は 707 件となっています。この時期はインフルエンザが蔓延する事により多くなっています。夏の時期は熱中症による件数の増加が反映されています。年齢区分別搬送状況では 8,467 人のうち新生児が 44 人、乳幼児 398 人、少年 311 人、成人(18 歳から 65 歳未満)2,640 人ですが、高齢者 5,074 人と高齢者の搬送件数が、全体の6割と大変多くなっております。

今年の6/1~8/31の熱中症の搬送件数は64件で6~7月は10件でしたが、8月に54件と増加しました。7月の梅雨明け以降、急激に気温が上昇し全国的にも熱中症が増加しました。八千代市での程度別では、重症化・死亡はありませんが、中等症、軽症が多く、場合によっては入院に至っています。種別ではコロナも影響してか急病が多くなっております。自宅や学校で具合が悪くなったという事で55件を占めています。また、高齢者の数が多くなっています。発生場所としては、屋外が26件、屋内が38件で屋内の方が多くなっています。報道にもありますが、自宅でエアコンをつけずに過ごしていて、気が付かないうちに熱中症になってしまう。また就寝中にも水分が失われますので、水分補給をするようご注意頂ければと思います。

新型コロナウイルス患者の搬送状況は、疑似症を含めて73件ですが、うち陽性者が9件で保健所から依頼があったものです。疑似症が64件です。緊急事態宣言が出された頃から多くなり、解除された6月は少なくなりましたが、全国的に感染が拡大した7月から増加傾向にあります。これは検査体制もあるかと思いますが、第一波の頃は検査を行うハードルが高かった為、感染者数が少なかったと思います。検査体制が整った7月頃からは陽性者、疑似症の患者さんが多くなって来ているとみて取れます。疑似症の患者さんは保健

所で病院を指定して頂けないので、救急隊が1件1件病院の受け入れを確認する必要があります。病院に確認するため、現場に2時間以上滞在する事もあります。また、搬送先が成田市などの遠方になる事もありますので、消防としても苦労しているところです。コロナウィルス感染症は先が見えず、八千代市でも6月頃までは25人程度の感染者でしたが、7月以降急激に感染者が増え、昨日現在で130名となっている状況です。今後、秋になりますとインフルエンザが流行してきますので、引き続き皆さまにも感染防止に努めて頂きます様、お願い致します。

【ちば北西部消防指令センターについて】

消防にとりましても大きな事業で、平成17年の総務省消防庁からの通知を受け、協議検討を重ねた長期にわたる事業です。千葉県内を2つのブロックに分け北東部、南部地区を担当する千葉市を中心とした県内の20の消防本部による共同指令センターと、北西部地区を担当する11市の消防本部による共同指令センターで運用する事が決定しました。ふたつのブロックは面積的にはかなりの違いがありますが、人口で見ますとそれぞれで約300万ずつとなります。八千代市では平成19年から運用開始している、高機能指令センターにおいて皆さまからの119番を受信し、災害の種別、火事、救急、救助を判断し市内管轄の消防署に指令をかけています。この業務を指令業務と呼びますが、この指令業務を各市が単独で行うのではなく、共同で指令センターを設置し、運用するものです。令和3年2月からの運用開始に向けて準備を進めているところです。八千代市では北西部地区の第1期整備から参画致します。千葉市を中心とするちば北西部消防指令センターでは千葉市消防局の現行の指令センターを改装し各市の消防本部の指令台を2つに分け、第1期として松戸市消防局を中心として松戸、市川、野田、流山、鎌ヶ谷、浦安で平成25年4月から運用を開始しています。第2期整備として来年から八千代、安孫子、習志野、柏の4市が加わります。全体的に240万人規模となります。本来であれば船橋市が入って300万人となりますが、船橋市は独自のシステムでドクターカー制度を導入しております。この為、来年の参入は見送る事が決定しました。各種災害の応援体制や情報共有を図るため、調整含め協議中で、積極的に協力したいという船橋市の意向もありますので、八千代市としても船橋市に入ってもらえる様に働きかけていきたいと考えています。

各10市からの119番が松戸市にある北西部消防指令センターに入り、ここから災害種別を判断し、各市へ指令をかけて行きます。119番通報は

市民の皆さまにとりましては、今までの119番通報と変わることはありませんが、何市ですか？と聞かれる事が加わるかと思います。現行の6市での消防指令センターでは、各市から職員が派遣され指令台について、ひとつひとつ処理をします。正面には大型モニターが設置され各市の出動状況が一目で確認する事が出来ます。このほかに気象状況や地図画面として映す事も出来ます。

組織構成としてはセンター長、副センター長、管制部門、システム管理部門の合計66名で構成されています。この66名を各市の人口割合に応じて算出した数として、八千代市からは5名が派遣されることになります。共同指令センターに移った時の大きな効果としては、

・市民サービス向上

共同指令センターで行う事で、携帯電話の4Gから5Gへの移行、電話回線のIP化など、日進月歩の技術発展に対応するためにも、迅速にそして低コストで対応する事が可能となります。

・災害対応力の強化

指令センターを共同化する事により、構成市の中で起きた情報を共有する事が出来ます。例えば、サリン事件や福知山の列車脱線事故の様に極地的な大きな事故の場合、1市だけで対応する事が出来ない事もありますので、共同指令センターからの応援体制が充実する事となります。

・行財政上の効果

複数の消防に於いて共同指令センターを設置運用する事で、単独で整備する事に比べて大幅な削減がはかれる事になります。本市に於ける財政効果としては、10年間の利用にかかる経費を比較すると約7億円の削減を図る事ができます。

共同指令センターに移行する事で、大きなメリットがあると考えておりますので、ご理解頂ければと思います。

ちば北西部消防指令センターでの令和元年の119番受信件数は八千代市消防本部で13,035件、柏市は22,034件、市川市は30,021件、松戸市は34,429件となっており、人口に比例して多くなっております。全市をトータルすると157,861件となり、1日平均432件、1時間あたり18件で、約3分30秒に一回119番を受けています。11台の指令台を使って240万人規模の対応をします。

指令台で119番を受信すると左上に地図が表示されます。左下は自動出動の為のディスプレイで消防車両の部隊を編制する時に使う画面となります。右上には各車両の状況を確認するための補助画面で、この3つは現行の八千代市指令

センターにも設置運用されています。今回新しくなるのが右下の受付補助ディスプレイとなります。10市ありますと各種出動の指令内容、出動車両数にも違いがありますので、入電時に状況に応じたチェックを行うと、自動的に画面に表示されます。救急の時には、その容体をチェックしますと、救急車と一緒に消防自動車を出すかどうかが自動的に判別されます。今まではこういった判断を職員が行っていましたが、画面でチェックする事でコンピューターが判断し、ヒューマンエラーを回避する事ができるシステムとなっています。

【八千代市消防本部 個別整備】

高所監視カメラの更新

高所監視カメラは平成19年に運用を開始し、既に10年以上経っており更新しなければならなくなっております。

現在ゆりのき台のライフタワーの屋上に設置されており、119番の入電時に指令台の制御装置と連動し、火災発生時にピンポイントで映し出す事が出来る装置で、出動隊に支援情報として送ります。ズームしますと表情まで写す事が出来る程、制度の高いものです。

無人航空機(ドローン)の導入

火災や災害による被災状況を上空から映し出す事により、災害全体を把握する事が出来るという事で、2機導入します。ドローンには浮き輪やロープを投下できる救助用もありますが、本市には山間部、大きな河川、海は存在しませんので、情報収集を目的に導入したいと思っています。災害時だけではなく、崖地や空き家、橋梁の破損状況なども確認できると思っています。

また市のシティプロモーション的にもアピールできると思いますので、そういった使い方についても他部局と協議しながら進めたいと考えております。

本市消防にとりましても、ちば北西部消防指令センターへ移行する事は、消防行政の大きな転換期であると考えています。また、東消防署も昨年9/27に竣工し10/1から八千代市の東側拠点として運用を開始しました。

今後も消防といたしましては、市民の皆さまの安

心と安全を守る為に精一杯努めて参ります。どうか皆さまにおかれましても、今後更なるご理解とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました

会長謝辞

会長 市原正男

ちば北西部消防指令センターの事を存じませんでしたが、来年から運用開始との事で、きっと我々の知らないところで、市民サービスの向上が進んでいるという事を実感致しました。

皆さんご存知の通り、日本では救急車は無料です。以前受け入れた中国からの交換留学生が、ある時救急車を呼んだ時、日本では救急車が無料で大変驚いた話をしていました。上海では救急車ではなく、タクシーで病院に行くそうです。我々はそういうサービスを当たり前のように享受していますが、きっと私たちの知らないところで、様々なご努力をされているのではないかと思います。

消防署の方は24時間365日休みなく我々の安全の為に働いて下さっています。本日の卓話をお聞きして、再認識致しました。今後共、お身体に注意して関口様始め、八千代署の皆さまが益々ご活躍されます事をご祈念致します。

ニコニコBOX～

合計¥7,000-

☆関口様卓話よろしくお願い致します。
遠藤・市原・鈴木利雄・三井・大中・風間
☆休みが長く続きました。 齋藤敏夫

～友愛BOX～

合計 ¥43,000-

☆78歳になりました。 石渡
☆結婚35年お祝いありがとうございました。 三井
☆綺麗なお花ありがとうございました。 君塚欣哉
☆妻の誕生日に花、喜んでいました。 中島 仁
☆関口様卓話よろしくお願い致します。
杉山・上代・池田・栗原・日下部・佐々木・山浦
中島貞好・寺沢・飯田・安宅・稲山・小村・中村
朝戸・青木・江頭・菊川
☆暑いです。 宮野
☆一時に比べ少し過ごしやすくなりました。 渡邊
☆シールド忘れ中村さんに千円取られました。 佐野
☆GOTO利用で湯治に行きました。 飯生

近隣クラブ例会日		例会場			
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフクラブ			
火曜日	八千代中央R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ			
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館			
水曜日	佐倉中央R.C	第1ウィシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オリバート			
木曜日	佐倉R.C	フランス料理 シェ・ムラ			
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館			

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
9/11	54	48	44	91.67

9月のロータリーレート 1ドル¥106

- クラブ会報委員会 委員長：稲山雅治 副委員長：日下部良夫
- 出席委員長 池田 建 ※欠席の際は必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。
- 例会日 金曜日 12:30～13:30
- 例会場 ハッソノグアイタ (〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F FAX047-450-0050)

